
令和6年度第2回かながわつながりネットワーク (神奈川県版孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム)

令和7年2月25日

神奈川県福祉子どもみらい局
福祉部生活援護課

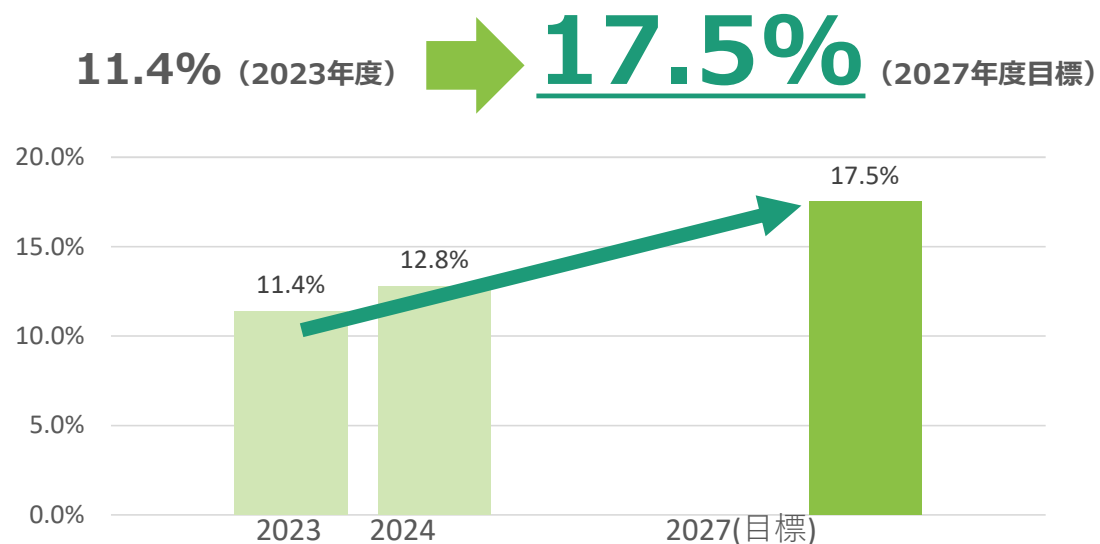
1 開会・趣旨説明

- 新かながわグランドデザイン（県総合計画）での位置づけ
- 神奈川県における孤独・孤立対策の取組方針と4本柱
- かながわつながりネットワークの目的

1-1 新かながわグランドデザイン（県総合計画）での位置づけ



「誰もが地域で孤立することなく、
困ったときに助け合えるつながりを持っていること」
に関する満足度（県民ニーズ調査）



新かながわグランドデザイン実施計画（R6.3）

1-2 神奈川県における孤独・孤立対策の取組方針と4本柱

方針

孤独・孤立の「未病改善」

4本柱

- ① 声をあげやすい・かけやすい社会づくり
- ② 状況に合わせた切れ目のない
相談支援につなげる仕組みづくり
- ③ 人と人とのつながりを実感できる地域づくり
- ④ NPO等の活動を応援し、
多様な担い手が連携する土壌づくり

※令和6年度第1回かながわつながりネットワークでの検討や支援団体等へのヒアリングをもとに、令和6年度第1回神奈川県生活困窮者対策推進本部にて検討

(参考) 孤独・孤立の未病改善

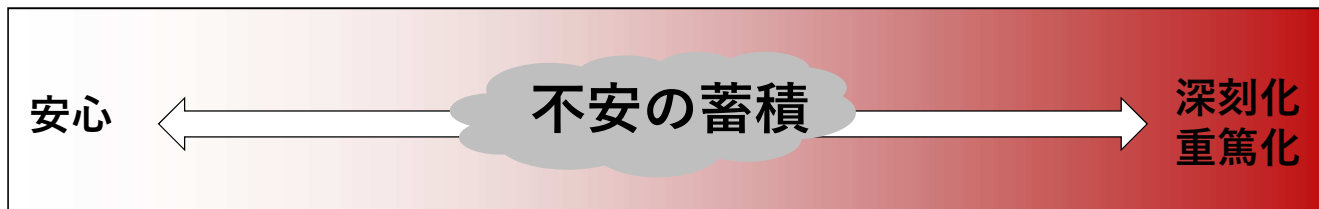
孤独・孤立や生活困窮の「不安」は
日ごろからライフステージ等の変化に
応じて段階的に変化する。



孤独・孤立や課題を抱えてからではなく、
日ごろからの地域での緩やかなつながりや
支援者と相談機関との間につながり
を持たせることで、
当事者の様々な不安の状態の中でも改善
に向ける。

= **未病改善!**

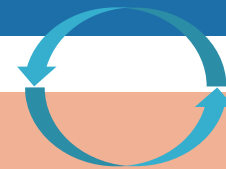
(当事者の状態)



当事者の状態に合わせて
地域と専門機関それぞれのサポート
により「未病」を改善

専門的な相談・支援

地域での緩いつながり



地域や支援者
と相談機関
のつながり

1-3 かながわつながりネットワークの目的

孤独・孤立対策推進法の趣旨を踏まえ、
地域の関係者（分野を越えた産学官民の主体）が
顔の見える関係でネットワークを構築し、水平的な連携・協働を推進
→緩やかなつながりのモデルや事例を発掘・創出し、県内に普及

連携・協働の推進を通じて
孤独・孤立の未病改善を図り
グランドデザインの目標達成
をめざす

当事者や担い手
のニーズ
(課題)

地域の
ニーズとシーズを
マッチング!



多様な担い手
のシーズ
(社会資源)

2 報告事項

- 第1回ネットワークでの意見と取組みの状況

2 第1回ネットワークでの意見と取組みの状況（1）

意見	取組みの状況
各地で民間の大らかさをもった ありのままで許されるような 拠点（居場所） が必要	ネットワークでの意見等を元に 県の取組の方向性や柱を検討 ・ 孤独・孤立の未病改善 県の令和7年度当初予算（案）に ・ 居場所の情報発信 ・ 居場所づくりのための 地域の人材育成 などの事業を計上
生きづらさを抱える人を 理解してケアできる 地域の人材育成 が必要	
居場所は行政だけでなく、 世代や支援の関係を超えて 地域が一緒に 作っていくべき	

2 第1回ネットワークでの意見と取組みの状況（2）

意見	取組みの状況
何気ない会話の積み重ねからの 関係構築 といざというときに 支え、つなげる 考え方の浸透	つながりサポーター養成講座 を今年度試行実施
市域を超えた連携に向けた 県からの声かけ が必要	上記講座を県から投げかけて 複数の自治体と連携 実施
地域から支援につなげるための 総合相談窓口 の必要性	県HP（さぽなびかながわ）に 多様な相談窓口の一覧 掲載

2 第1回ネットワークでの意見と取組みの状況（3）

意見	取組みの状況
既存ネットワークとの関係を整理し、連携した モデルづくり が必要	かなこん、BAK、人生100歳時代NWなど 既存ネットワークと連携 した意見交換や取組検討
支援の担い手の課題と福祉分野を超えた多様な社会資源との コーディネート が必要	当ネットワークが調整役 となり企業と団体との連携検討
あらゆる分野や主体が関与した ネットワーク の確立	官民双方のかながわつながりネットワークの メンバー拡大 を検討

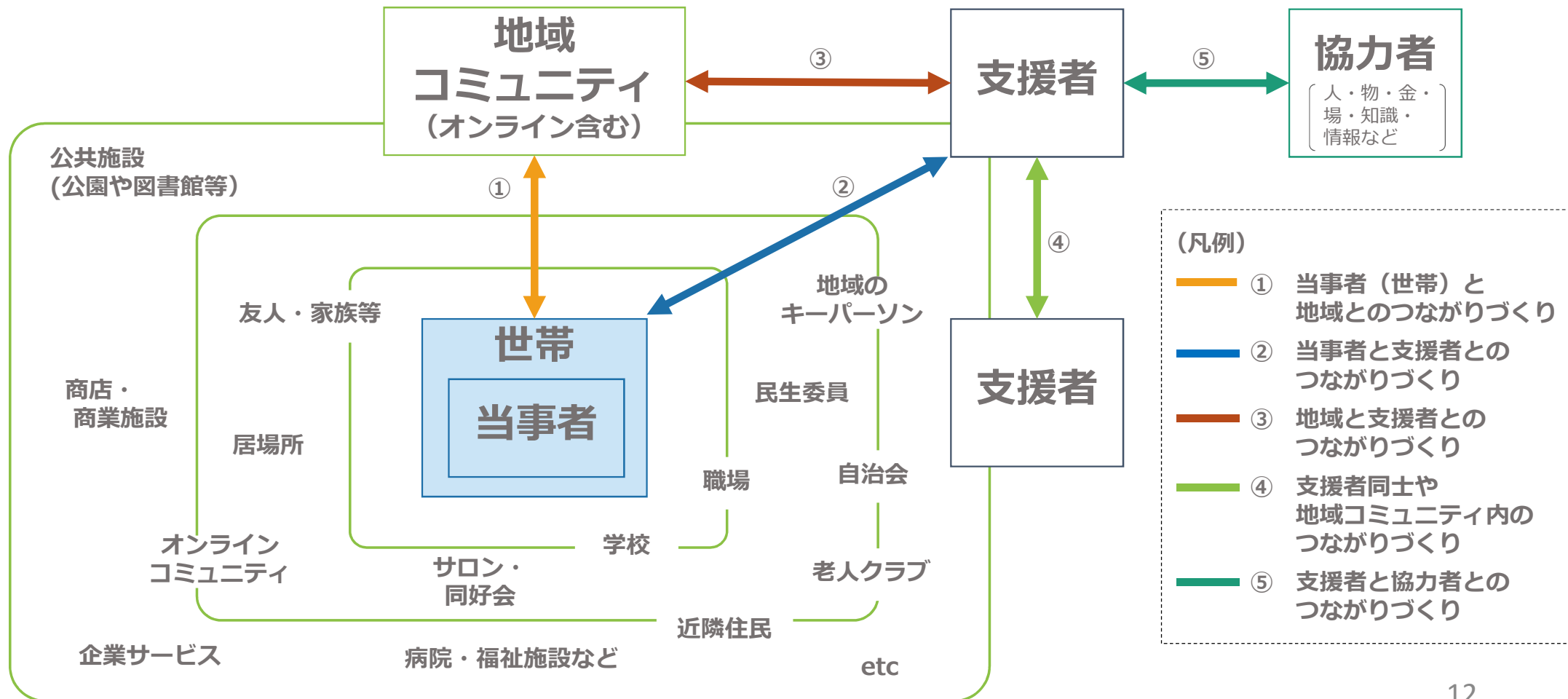
(参考) 令和6年度 神奈川県における主な取組み

四半期	取組み例
第1 四半期	- 神奈川県版孤独・孤立対策官民連携PF（かながわつながりネットワーク）の設置及び第1回開催 孤独・孤立対策強化月間における啓発活動 - 神奈川県生活困窮者対策推進本部における取組方針の決定
第2 四半期	- 孤独・孤立対策に係る政策提案（政策レビュー） ⇒ 地域人材の育成及びMAPづくりを予算案に盛り込む - 孤独・孤立対策研修会（市町村・支援員向け 計2回）
第3 四半期	- さぽなびかながわの改修（TOPページでの相談窓口紹介） - 官民連携に係る海外事例の調査 他ネットワークとの連携（ベンチャー等の企業向けに連携の呼びかけ）
第4 四半期	- つながりサポーター養成講座の5自治体連携による試行開催（座間市、大和市、海老名市、綾瀬市、県） - 第2回かながわつながりネットワーク開催 他ネットワークとの連携（「若者の孤独・孤立」をテーマに、かなこんネットネットワーク会議開催） 民間事業者との意見交換会及び現場視察会の開催（予定）
通年	- 県職員による出前講座（老人クラブ、大学等） - 地域のつながり紹介に向けた取材レポートや「さぽなびかながわ」での取組紹介 - 教育と福祉の連携、かながわ未来共創プラットフォームなどによる具体的な官民連携の推進

協議事項 今後の取組みについて

- 孤独・孤立対策に係る連携の土壌づくりについて
- かながわつながりネットワークの共通テーマについて

(参考) つながりづくりのイメージ



3-1 ネットワークの取組みを進める上での課題（事務局案）

課題（案）	対応（案）
担い手が抱える課題や社会資源の 把握と情報共有	連携の土壌づくり 多様な担い手（産学官民）に 当ネットワーク参加 を呼びかけ 多様な担い手が抱える課題と 有する社会資源を収集・共有 併せて視察会や交流会など 顔の見える関係づくり
課題と社会資源の マッチングの難しさ	
メンバーが一丸で取り組める 共通テーマの設定 ※	共通テーマの設定 孤独・孤立の未病改善や緩やかなつながりに係るテーマを設定

※孤独・孤立対策推進法の趣旨を鑑み、県として特定の分野や対象に限定する意ではなく、多様な担い手間で共有して取り組むためにテーマ設定したい。
また、個々のメンバー間の連携や協働を制限するものではない。

3-2 孤独・孤立対策に係る連携の土壌づくり（案）

- ・ 多様な担い手に**当NWへの参加**を呼びかけ
- ・ 担い手の課題と社会資源の**情報収集・共有**
- ・ 視察会や交流会など**顔の見える関係づくり**



（各画像は取組みのイメージです） 14

3-3 かながわつながりネットワークの共通テーマ（案）

① つながることへの普及啓発・機運醸成

（つながりサポーターの養成や孤独・孤立対策強化月間を中心とする広報など
つながること・周囲に相談することへのムーブメントづくり）

② 社会参加・地域参加の機会づくり

（就労・就労体験・ボランティア・文化・スポーツ・イベント・
生涯学習、オンラインコミュニティなど
社会デビュー・社会参加、地域デビュー・地域参加の機会づくり）

※孤独・孤立対策推進法の趣旨を鑑み、県として特定の分野や対象に限定する意ではなく、多様な担い手間で共有して取り組むためにテーマ設定したい。
また、個々のメンバーの課題意識やメンバー間の連携や協働を制限するものではなく、個々の連携・協働の推進も併せて取り組んでいく。

3-3① つながることへの普及啓発・機運醸成



(つながりサポーター養成講座の様子)



(孤独・孤立対策強化月間における広報)



(緩やかなつながりをテーマに各種媒体での広報)

3-3② 社会参加・地域参加による当事者の変化

（発表：寿支援者交流会 様）

（発表：認定NPO法人 フリースペースたまりば 様）

協議事項 今後の取組みについて

- 孤独・孤立対策に係る**連携の土壌づくり**についてご意見をお願いします。

(例) 連携の土壌を形成する上での重要な点、積極的に参加を呼びかけたい分野・業界や担い手、連携して取組みたい個別・具体的な課題、視察してみたい県内の取組みなど

- かながわつながりネットワークの**共通テーマ**についてご意見をお願いします。

(例) 普及啓発・機運醸成について取り組めること、社会参加・地域参加について取り組めること、ほかメンバー間で共通して取組みたいテーマなど

事務連絡

次回について
(令和7年6月頃を予定 別途日程調整)

つながろう かながわ



(参考) 孤独・孤立対策に係る県の取組事例

①令和6年度第1回つながりサポーター養成講座〔試行〕

- ・ **日時** 令和7年1月24日（金）15:00~16:30
- ・ **会場** イオンモール座間 イオンホール
- ・ **参加者** 55名（申込62名）
- ・ **講師** 井澤 徹 氏
（所属：特定非営利活動法人新公益連盟）
- ・ **実施者** 5自治体共同開催
（神奈川県、大和市、海老名市、座間市、綾瀬市）
※内閣府事業活用
- ・ **概要** 孤独・孤立対策推進法の趣旨及びつながりサポーターの役割について説明を受ける。
- ・ **感想（一部）**
孤独・孤立対策の基礎的な知識から学ぶことができ、一般への普及啓発として理解が進む。



（講座の様子）

(参考) 孤独・孤立対策に係る県の取組事例

③地域の緩やかなつながり・見守りづくり情報交換会

- ・ (1)令和7年2月21日(金) 社会福祉法人愛川舜寿会「春日台センターセンター」視察会
- ・ (2)令和7年3月3日(月) 「心身社会の健康づくり～コミュニティナース事業」(オンライン)

多様な担い手間で、県内外の取組みを情報共有し、つながりづくりに向けた意見を交える。

神奈川県
地域の緩やかなつながり・見守りづくり情報交換会

地域共生文化拠点の現場を見る
社会福祉法人愛川舜寿会「春日台センターセンター」視察会

県では、孤独・孤立対策推進法の施行に伴い、人と人との「つながり」を実感できる地域づくりに取り組んでいます。この取組の一環として、産学官民や地域の多様な担い手間で、地域における緩やかなつながりづくりや、孤独・孤立対策について情報共有・意見交換の場を設けております。今回は、愛川町で多世代や多様な人々が集う拠点施設として注目を集める「春日台センターセンター」の視察会を企画しました。施設の見学だけでなく、運営の様子、地域との関わりなど現場の様子を知ることや参加者同士のつながりの機会となりますので、ぜひご参加をいただくと幸いです。

日時 令和7年2月21日(金) 14時～16時
電 所 春日台センターセンター ※現地集合での視察会となります。
神奈川県愛甲郡愛川町春日台3丁目6-38
バス伊豆台団地/神奈川中央交通から徒歩約4分/駐車場有

春日台センターセンター
本会が愛川町の「春日台センターセンター」は、スーパーマーケットの跡地を活用した複合施設です。高齢者や障がい者の生活支援などの機能に加え、地域の交流の場として活用されています。本会では、地域の活性化に貢献する取り組みの一環として、この施設の見学と意見交換の場を設けています。

定 員 30名(先着順)
参加費 無料 **ナビゲーター** 社会福祉法人愛川舜寿会 理事長 馬場 拓也 氏

お申し込みはこちらの二次元バーコードから
※定員になり次第、締切させていただきます



(チラシ)

神奈川県
地域の緩やかなつながり・見守りづくり情報交換会

県外事例紹介
地域住民の健康を地域全体で支える
「心身社会の健康づくり
～コミュニティナース事業」

県では、孤独・孤立対策推進法の施行に伴い、人と人との「つながり」を実感できる地域づくりに取り組んでいます。この取組の一環として、産学官民や地域の多様な担い手間で、地域における緩やかなつながりづくりや、孤独・孤立対策について情報共有・意見交換の場を設けております。今回は、兵庫ヤクルト販売株式会社と株式会社CNCが協賛し、兵庫県内で進める「コミュニティナース」事業について、両当事者をゲストに紹介いたします。コミュニティナースは、暮らしの身近なところで元気なうちから、「毎日の嬉しい・楽しい」や「心身社会的な健康」を住民の方と一緒にやっていく取り組みです。ヤクルトレディとコミュニティナースが連携し、両者の強みを活かした「コミュニティナース事業」について解説をいただきます。

日時 令和7年3月3日(月) 10時～12時
ZOOMによるオンライン開催

講師 兵庫ヤクルト販売株式会社 株式会社CNC
代表取締役社長 執行役員
阿部 恭大 氏 山元 圭太 氏

定 員 100名(先着順) **参加費** 無料

お申し込みはこちらの二次元バーコードから
(申し込み締め切り:令和7年2月26日※)
※参加にはお申込後、オンライン参加のURLを郵送するメールをお送りいたします。



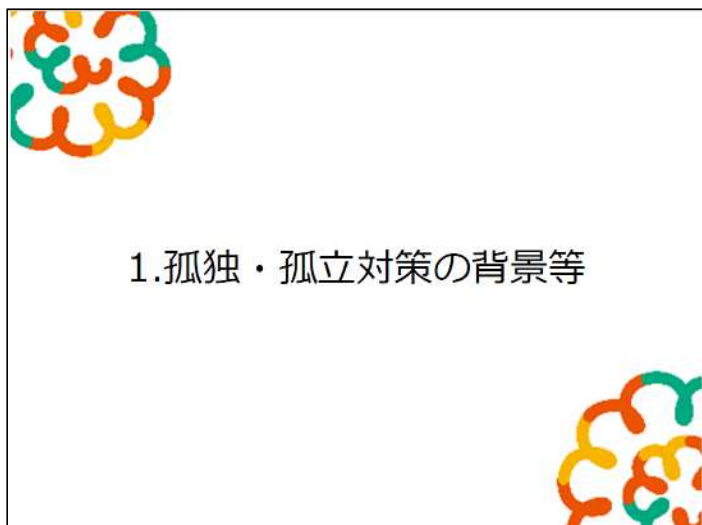
(2月21日春日台センターセンター視察の様子)

(参考) 孤独・孤立対策に係る県の取組事例

④ 支援員向け孤独・孤立対策研修会

- ・ (1)令和7年2月21日(金) 社会福祉法人愛川舜寿会「春日台センターセンター」視察会
- ・ (2)令和6年10月24日(木) 現場から見る孤独・孤立対策等について(オンライン)

自治体職員やNPO等の支援者向けに開催。孤独・孤立対策推進法を踏まえた地域のあり方を考える。



(第1回講義資料(一部))



(第2回チラシ)

- ・ とても興味深い内容である。今後、見守りの事例などを伺いたい。
- ・ 高齢者や障害者の孤独・孤立だけでなく、若者や中高年層の孤独・孤立も課題である。
- ・ 誰もが地域でつながれる場が必要。例えば商店街のようなコミュニティの受け皿を地域で広げたい等

(アンケート例)

(参考) 孤独・孤立対策に係る県の取組事例

④県ポータルサイトでの地域のつながりづくりに係る情報発信

孤独・孤立対策強化月間（５月）に孤独・孤立対策ポータルサイトを開設（さばなびかながわ内）。

支援団体等のレポート記事や地域のつながりづくりを取材して情報発信



子育て体験から生まれたアイデアいっぱいの自然派カフェ

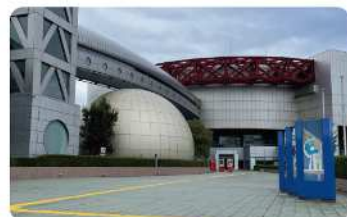


「こまちぶらす」のメンバー



イベント情報などをまとめたリーフレット。月に1回発行している

子育ては毎日が今の時代は核家族化そのものを一人で抱きこもりがちになっても珍しくありませ郷区で2012年に立ち事長 森祐美子）です団体名には「こまちぶらす」全体で子育てを豊かの大家明子さん自身たのは、設立当初が「こまちぶらすで場所事業と、子育てしています」（同NPIJR戸塚駅の西口がづくりの建物は、では、入口で靴を脱し、赤ちゃんが”はし地域の八百屋さんりが自慢です。ふだ人も、忘れかけています。あたたいが



事務局が入る横浜市栄区の「あーすぶらさ」

高校進学ガイダンスやコーディネーター派遣、フリースクールも



ガイダンスで体験感を語る先輩たち

様々な理由から日ち」。その子どもたち教育支援などを行ながわ（以下、ME-ne横浜栄区にある「置いていて、曹段は3

手がける事業は福祉立高校への多文化教育り団体によるネットワ協働で作成しているぶす。英語・中国語・ス中学校や公共施設など

子どもたちが自分らしくいられる居場所「鎌倉てらこや」（鎌倉市大船）

元々、お寺、青年会議所、ボランティアによるお寺イベント事業からスタートし、活動の幅を広げながら、現在のNPO法人に至る。自然・農業体験、お寺での合宿など親子で楽しめる本格的な体験イベントのほか、子どもの常設フリースペース「てらハウス」の運営なども行っている。

小木曾さん(事務局長)をインタビュー

フリースペース「てらハウス」写真を撮ろうと思ったら「扉は閉めた方がいいかな」と気づいてくれましたが、ありのままを撮らせてもらいました



若いスタッフが多いですね

学生ボランティアです。子どもたちは、我々には「さん」付けなのに、学生のことは「〇〇くん」と呼んだり、気軽に相談しやすい存在です。彼らを見て子どもたちが将来ボランティアとして戻ってきてくれたり、いい影響を与えています。

行政の支援が必要なケースはありますか、行政に求めることはありますか

孤独・孤立の未然防止の観点でやっているの、行政の支援が必要な深刻なケースはあまりありませんが、もちろん必要なときはつなぎたいと思います。しいて言えば、学校との連携がもっと深まるといいですね。

「てらハウス」は商店街の中にありますが、地域の商店街とのつながりはありますか

商店街のお祭りに、子どもたちと一緒に屋台を出したり運営のお手伝いをしたりなどして、商店街のみならずみなさまのご理解をいただきながら、関係性を築いています。

NPO同士の横のつながりがほしいと感じることがありますか

私たちが主な対象としている子どもたちという視点に立った時、子どもたちが関わる活動の幅を広げるという意味で様々なつながりがあった方がいいと思います。子どもたちの求める活動に応じて、他の団体さんの情報を提供したり、若い大学生が多いという、私たちの強みに子どもさんをつなぎたいと紹介を受けることもあります。

非常利団体が活動を継続するために大事なことで、どんなことが考えられますか

企業の寄付など継続的に協力をお願いできる仕組みや、収支がしっかりしていることは大事だと思います。私たちの場合は、活動の立ち上げの時からつながりのある青年会議所のメンバーの皆さんのご縁もあって、税理士さんのアドバイスを受けていて、収支はしっかりしている方だと思います。

「NPO法人鎌倉てらこや」のURL : <https://kamakura-terakoya.net/>

(参考) 孤独・孤立対策に係る県の取組事例

⑤他のネットワークとの連携

かながわ生活困窮者自立支援ネットワーク（生活困窮）、ビジネスアクセラレーターかながわ（産業振興）、人生100歳時代ネットワーク（コミュニティ）、かながわSDGsパートナー（SDGs）など
県の既存ネットワークと連携して、孤独・孤立対策やつながりづくりをテーマに意見交換や取組検討



令和 7 年 2 月 27 日（予定）
かながわ生活困窮者自立支援ネットワーク ネットワーク会議
「若者の孤独・孤立に地域ができることを考える」



令和 6 年 12 月 11 日
ビジネスアクセラレーターかながわ
コミュニティ～：つながりを育む地域のこれから～



令和 6 年 2 月 29 日
人生100歳時代ネットワーク
2 月定例会で意見交換